

読売理工医療福祉専門学校

学校関係者評価 報告書

「平成28年度・第2回」

平成28年11月26日

学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業等役職員等の学校関係者を選任し、学校が実施した平成 27 年度における自己評価の結果と、平成 28 年度における取り組みに対する評価を行い、教育活動と学校運営の改善に向けた助言を行う。なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策等が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

## 2. 平成 28 年度 第 2 回学校関係者評価委員会の実施

平成 28 年度における各評価項目の取り組み状況と重点目標に関する取り組み状況を報告し、委員の方々に評価とご意見・ご提案を頂いた。

尚、平成 28 年度の重点項目は次の通りである。

- ・1 年次退学率の改善
  - ・地域貢献と学生ボランティア活動について
  - ・留学生の教育
- 
- ・開催日時：平成 28 年 11 月 26 日（土） 14:00～15:50
  - ・場 所：本校 401 教室

## 3. 学校関係者評価委員会委員

### 【委 員】

- ・渡部 俊一：卒業生 校友会副会長
- ・風間 正弘：保護者 建築学生の保護者（欠席）
- ・湯浅 孝雄：地域住民 慶応仲通り商店会会長
- ・羽場 宏祐：企業等 放送映像学科（株）インターナショナルクリエイティブ（欠席）
- ・鹿毛 信一：企業等 建築系学科 河端建設(株)
- ・武田 知明：企業等 電気電子学科 東邦電計(株)
- ・笹口 友美：企業等 臨床工学系学科 北里大学北里研究所病院
- ・大庭 尚子：企業等 介護福祉学科 港区立特別養護老人ホーム港南の郷

### 【学校側】

- ・千葉 康文：理事長
- ・渡邊 敏章：校長
- ・尾林 徹：校長補佐
- ・菅野 敬祐：校長補佐・臨床工学系学科長
- ・黒田 幸弘：建築系学科長
- ・水落 清治：放送映像学科学科長
- ・曾我 辰也：介護福祉学科学科長
- ・角田 浩二：電気電子学科学科長
- ・豊田 正敏：参与
- ・天野 誠一：法人本部長
- ・佐伯 和宏：事務局長
- ・久保 真樹：総務室課長
- ・坂井 剛：総務室

(敬称略・順不同)

4. 委員からの意見・提案：評価点は4点満点（ ）内は第1回評価委員会の評価点

[1] 28年度の取り組み状況に関する意見と29年度の改善点

(1) 教育理念・目的・育成人材像等 3.23 (4.0)

- ・26年にスタートした読売式教育メソッドは順調に推移している。
- ・読売式教育メソッドは定着しているのか。
- ・メソッドも具体的に生徒たちにも伝わっていると感じます。

(2) 学校運営 3.63 (3.4)

- ・生徒が増えているとのこと、努力を感じる。
- ・学校施設、校舎を含めたインフラの整備が急がれる。
- ・近年、社会的、経済的な影響もあり、学生の定員を満たしているようで良いと思います。

(3) 教育活動 3.75 (3.6)

- ・様々な学科があり、様々な人と交流できてよいと思います。
- ・ハロウィンの写真楽しく拝見しました。学業以外での学生たちの活躍も大切だと思います。
- ・年々増加する留学生の日本語教育
- ・グローバル化に応じた国際交流、社会人のための機能促進（職業的自立）等期待してます。
- ・インターンシップ等充実しているようでよいと思います。
- ・建築系学科はインターンシップが難しいですが、前向きに検討されているのがよいと思います。

(4) 学修成果 3.63 (3.4)

- ・介護福祉士の国家試験対策の充実が今後必要です。
- ・どの学科も努力された成果が出ていると感じました。
- ・退学する原因として座学実習がつまらない、ついていけない等の理由が有るかも知れません。1年次の早い時期に実習を体験させ将来の職業（カメラ、音声、編集、照明）に興味を持たせてモチベーションを上げ、将来の目標達成のためには座学の勉強が必要であることを理解させたら良いのではないかと。
- ・各学科とも生徒に成果を出させるために努力されている、今後も続けて欲しい。

(5) 学生支援 3.75 (3.6)

- ・外国人が増加していると聞いている、外国人の支援は出来ている方だと思います。日本人の支援については、カウンセラーを置いていて、専門学校でカウンセラーを置いている学校は少数で努力されていると思います。
- ・留学生の日本語教育をもっと充実させましょう。
- ・若干日本語がしゃべれる留学生には、実技ワークショップを通じて日本人学生とのコミュニケーションの活性化を推進したほうがよいのではないかと。
- ・現代の若者たち(学生)、将来像を描かせることにより、学習意欲を向上させる。
- ・退学率の改善などの努力をされているので、続けていただきたいと思います。

(6) 教育環境 3.63 (3.3)

- ・トイレ等の設備は整えられている。また、田町の駅前という立地は通学しやすい。

- ・将来のマイスターを志すために、授業に興味を持たせるのが一番と考えます。座学より実技を1年次の早い時期に取り入れ職種目標をもたせたらよいのではないかと。
- ・学生がきちんと学べる環境（施設）が必要。
- ・いつ来ても校舎がきれいです。オープンスクールなどで来た学生の印象もよいと思います。

#### **(7) 学生の募集と受け入れ 3.75 (3.4)**

- ・少子化の進行に伴い苦勞している学科もあります。ホームページ等は見やすいし、情報も更新されているのでよいのですが、反応はどうなのでしょう。
- ・順調に推移していると思う。
- ・現在でも大学進学希望者が多い中、今後のさらなる工夫が必要と思われる。
- ・募集状況が良いのは、社会状況の影響があると思います。

#### **(8) 財務 3.75 (3.3)**

- ・学生数が減少する中、経営は大変だと思います。
- ・近年良くなっていると思います。

#### **(9) 法令等の遵守 3.88 (3.7)**

- ・弊社採用の卒業生は業務の性質上、基本は理解してますが再教育をしています。コンプライアンス、社会性は特に重要なので今後とも力を入れてほしい。
- ・基本的な事以外でも情報を収集しているなど努力されていることを感じます。

#### **(10) 社会貢献・地域貢献 3.63 (3.0)**

- ・商店会のお祭り参加等、努力されていると思います。
- ・地域活動（商店会の祭り）への参加することで、年齢の違う方々との接触から、人間性を高めることが出来たのではと思います。
- ・地域商店会との連携が良い
- ・毎年レギュラー番組として夏休みに放送される24時間テレビ（生放送）に学校としてボランティアエントリしたら如何でしょう、学生にも人気のボランティア活動になると思います。
- ・学生たちは、ボランティア活動等、大いに参加していただき、社会人のための生涯学習の場としたい。
- ・地域商店会との連携などはとてもよいのですが、全学科から参加者を募ってほしい。
- ・防犯・防災・地域の美化運動などの参加もしてほしい。

### **[2] 28年度重点項目の取り組み**

- ・達成できている。
- ・良く出来ている。
- ・①1年次退学率の改善 ②地域貢献・社会貢献の活性化 ③留学生教育の充実 この3項目の目標達成に期待する。
- ・退学率の減少も良いですし、まだ成果は出ていないでしょうが、学習意欲の向上にも色々考えながらされているので、継続してください。

### [3] 28年度に関する意見と、教育活動・学校運営の改善に活用する内容

- ・就職しても3年・5年と続けられるように、仕事へのモチベーションが卒業後も持ち続けられるような学習ができるとよいと思います。
- ・努力されていると思います。
- ・今年度は少しずつではありますが、学校、学科で色々な考えを実行され始めた年と感じました。

### [4] 29年度に関する意見と、教育活動・学校運営の改善に活用する内容

- ・留学生の言語・日本文化についての教育について、特に介護施設学科の場合日本文化の理解は欠かせないため、カリキュラムに取り入れるとよいのではないかと。また、日本人の学生でもそれらを知らない人が多いので必要なのではないかと。
- ・介護福祉学科は来年度から、5年のうちに筆記試験を合格しないと介護福祉士になれないので、今後試験対策の充実も必要になって行くと思います。
- ・物事に興味を示す、感じる心の教育をお願いしたい。
- ・就職活動について、企業側からの要望としてインターンシップの前にリクルート企業合同説明会が学校内で出来ればと思っています。学生に各社の業務内容を知ってもらうことは、インターンシップがより効果的な場になると思います。具体的には、参加社は、みらい会希望各社等、内容はプレゼン（会社概要、職種など）各社20分程度、プレゼン終了後各社机1つ分のスペースで学生との個別面談等を行う。
- ・学生への学習意欲の向上、就職意識の向上、各教育を学びより充実した人間力の開発に促してほしい。
- ・今年度以降は50周年記念、校舎移転、オリンピック以降の景気動向など、様々なイベントや経済的影響がありますので、今後の長期的ビジョンをうかがいたい。
- ・全てについて前向きに取り組み、改善されているように思います。

## 5. 平成28年度の取り組みに対する評価

### ・1年次除籍退学率の改善

昨年度、学校全体として除籍退学率15.1%と高い数値を出してしまいました。除籍退学者占める1年次の退学者が約5割あり、その改善なしに学校全体の除籍退学率の減少は難しいことから、1年次の指導に取り組んでいる。前期が終了した9月現在の除籍退学率は昨年同期の5.48%を下回り4.6%となっている。1年次退学者は昨年19名比14名と低いが除籍退学率に占める割合は50%と高いことから、引き続き「学習意欲の向上」「職業意識の向上」をはかり退学者の減少に努めています。

### ・地域貢献と学生ボランティア活動のさらなる推進

7月23日に開催された地元慶応通り振興会の慶仲祭のポスター制作やイベントへの学生クラブの参加をいたしました。毎年恒例ですが、10月29・30日に行われた学園祭では、初日に慶応通り振興会の皆様と餅つき大会も実施致しました。学校ぐるみで行っている行事の他に学科行事として、クロスメディア情報学科は学校から少し離れた芝商店街の地域振興に協力して、ポスタ作りやイベントの協力、日テレの24時間テレビの募金活動にも多くの学生がボランティアとして協力しています。

### ・留学生教育の拡充

日本での就職に備え実施している社会人基礎力講座について、昨年度は留学生の日本語レベルや意識関係なく日本人と同様に行ってきましたが、今年一部留学生については日本の社会の理解を含めた形でクラス分けを実施しています。日本語能力の向上同様に取り組んでおります。

## 6. まとめ

平成 27 年度第 2 回委員会における委員の方々のご意見ご提案を、年度末までの教育活動・学校運営に反映させるとともに、第 1 回委員会のご意見ご提案も含め、来年度の教育活動・学校運営に活用する。

以上